

## 地階特集！！

皆さんは地階に対してどんなイメージを持っていますか？  
「資料がたくさんある」、「なんか薄暗い」、「どう利用すればいいのかわからない」  
「そもそもどこに何があるの？」 etc、etc.....

そこで今回は地階にスポットをあててその魅力と利用方法を紹介したいと思います♪  
皆さんもこれを読んで地階という名の迷宮を探検してみませんか？



### 電動書架の動かし方

地階両サイドにズラリと並ぶ電動書架。  
電動のイメージからか、使い方を知らない方がとても多いのです。



ボタンを押すと、自動で書架が動きます。

- ☆ 動かす時には、他の書架に人がいないか確認し、モニター間で電気がついている所があれば消してください。
- ☆ 最初から書架が開いているなら、中に入れば電気は自動で点きます。



終わったら、ボタンを押して電気を消しましょう。

中に入ります。



注意！

万が一挟まれそうになったら、オレンジ色のバーを横から押しましょう。

次の人が使いやすいように……

## ① レファレンス

レファレンス (R) には主に百科事典・辞書・白書・年鑑があります。和書と洋書が混在して置かれています。東京女子大学図書館 HP のデータベース (例えば「ジャパンナレッジ」や「ネットで百科」など) と併せての利用がおすすめです。

古いレファレンス資料 (M: 旧レファレンス) も地階にあります。

## ② 新聞・雑誌

### F: 和雑誌バックナンバー

和雑誌は OPAC から見てタイトルの五十音順 (本の請求記号順ではありません!) に並んでいます。手前側に日本語、その奥に英語の題名の雑誌があります。

### G: 新聞・洋雑誌バックナンバー

洋雑誌は OPAC から見て奥からタイトルのアルファベット順に並んでいます。ここの新聞バックナンバーは原紙で、縮刷版を購入していない日本と外国の新聞が約 1 年分おいてあります。

### 新聞縮刷版

ここには朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞の縮刷版がおいてあります、ただし、過去約 2 年分の縮刷版は一階の新聞雑誌閲覧室にあります。

## ③ 分類番号 400~600 番の図書

階段を降りてすぐの A のエリアには、主に「自然科学」「技術」「産業」の分野の資料が集まっています。このエリアは、専攻・学科に限らず多方面からのアプローチができます。

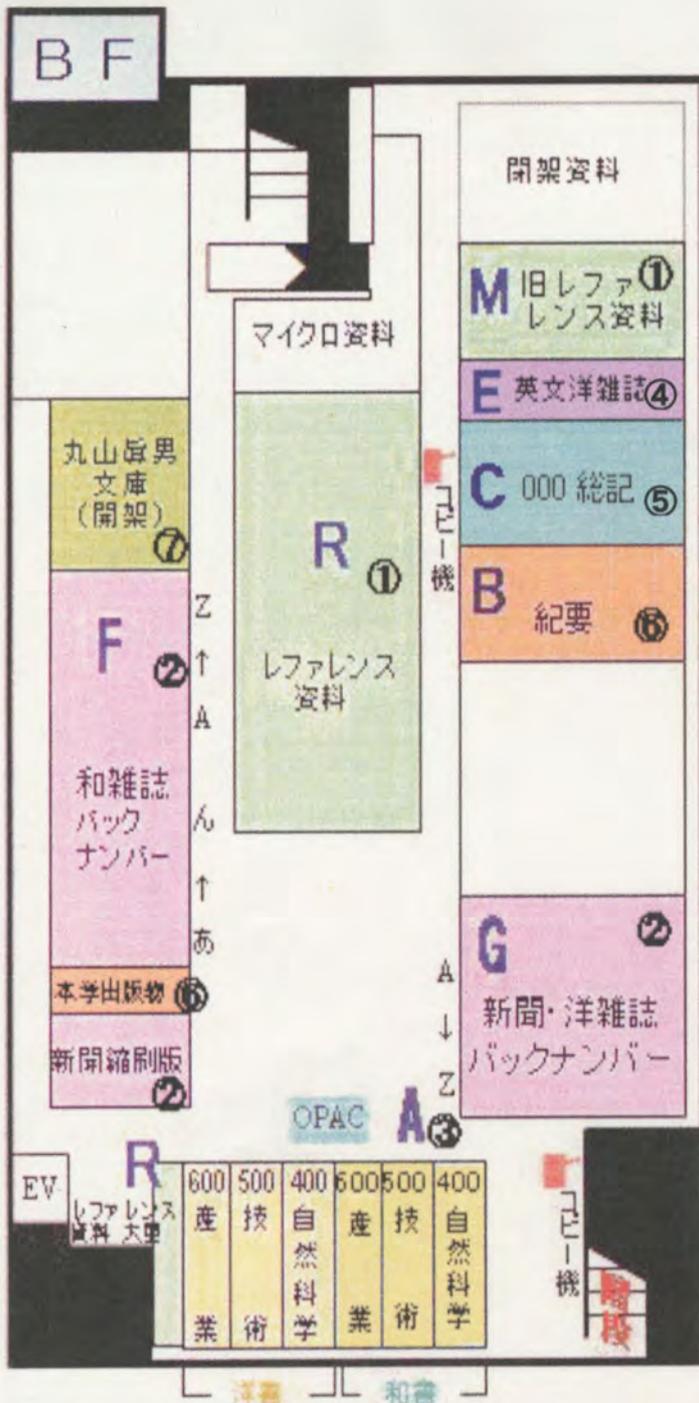
例えば「オタクで女の子な国のモノづくり」や、「みんなの自然をみんなで守る 20 のヒント」(2010 年度前期お薦め図書ポップより) など、どれもわかりやすい言葉で身近な事象を取り上げていることがわかります。

## ⑦ 丸山文庫

戦後日本の代表的知識人である丸山眞男氏が遺した貴重な図書や各種草稿資料類が収蔵・公開されています。学内者は開架図書の貸し出しもできます。丸山先生の貴重な資料に一度ふれてみてはいかがでしょうか?



400~600番台の図書



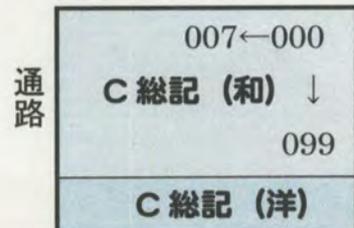
#### ④ 英文洋雑誌

ここにあるのは元々英語文学文化専攻の図書室にあった雑誌です。少し奥まったところにありますが、英語文学文化専攻だけでなく言語科学専攻の人にも役立つ資料がたくさんあるので、ぜひ利用してみてください。

#### ⑤ 総記 (000~099)

総記の部分には、情報技術 (007)、図書館 (010台) ジャーナリズム (070)、叢書・全集 (080) などに関する本が置いてあります。

コンピュータや IT、パソコンのプログラミングは 007、著作権法について調べるときは 020 です!!



#### ⑥ 紀要・本学出版物

紀要のコーナーには全国の大学や研究所などが発行している研究雑誌がおいてあります。例えば「昭和女子大学」は「ショ」と書いてある棚にあります。また、東京女子大学の紀要は別に「本学出版物」として和雑誌と新聞縮刷版の間に置いてあります。



#### コピーカードをご存知ですか？

コピーカードは、1階コミュニケーション・オープンスペースのコピー機横で販売しています。

1000円で105度数なので、大量コピー時にお得です！

#### 図書館でコピーする際の注意事項

- ・ コピーできるのは図書館の資料のみです
- ・ コピーしたらコピー記録票に記入するのを忘れないでください
- ・ コピーできるのは著作物全体の半以下です
- ・ 新聞・雑誌の最新号はコピーできません

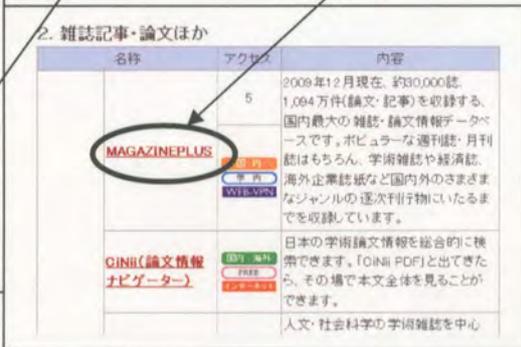


# ●雑誌論文の探し方 ～少し複雑な、雑誌の検索方法をカンタンに説明します～

(多くの場合、最新～約半年分は新聞雑誌閲覧室にあり、それより前の分は地階にあります)

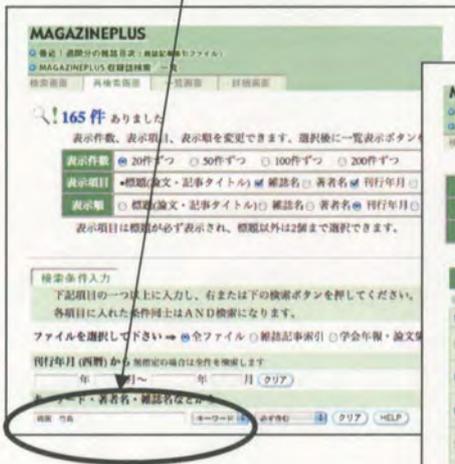


図書館のホームページ>データベース検索  
→例として **MAGAZINEPLUS** を利用してみます。

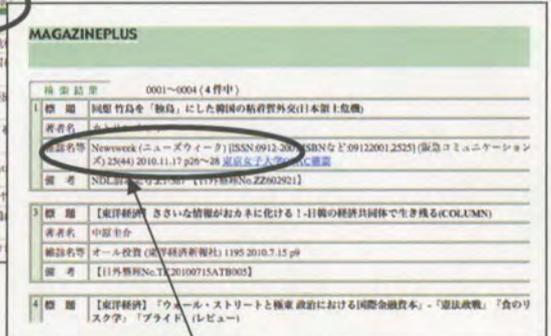
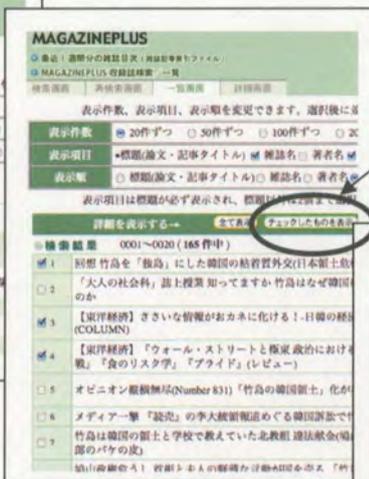


次に「キーワード」などから検索をかけると、その情報にあてはまる資料が紹介されます。

[一覧表示]をクリックしたら、気になるものをチェックしていき、



[チェックしたものを表示]  
をクリックします。



このように詳細が表示されるので、それを参考に掲載雑誌名を **OPAC** で検索しましょう。

[コメント欄]を見てその資料がどこにあるか確認し、[所蔵巻号]を見て、読みたい巻号が所蔵されているかをチェックしましょう。



地階 F (和雑誌) : 和雑誌バックナンバー (タイトルの50音順)

地階 G (洋雑誌) : 洋雑誌バックナンバー (タイトルのアルファベット順)